



第3号

発行日:平成22年1月1日

病院の理念 「患者本位の医療」

基本方針

患者さまの意思を尊重し、信頼される医療を提供します。
地域中核病院として、
高度な医療と救急医療の充実に努めます。
急性期病院として関係機関と連携し、
地域医療の充実に努めます。
地域がん診療連携拠点病院として、
機能の充実強化に努めます。
臨床研修指定病院として、
地域医療を担う優れた医師の育成に努めます。

年頭の挨拶

公立藤岡総合病院附属
外来センター長 清水 透

新年あけましておめでとうございます。

昨年は政権が代わり、変革の年と言われました。しかし私たちの生活は相も変わらず、不安や不満が絶えません。新型インフルエンザの蔓延は、毎日のようにマスコミでも取り上げられています。これから大きなイベントの控えている人々は、さぞかしご心配のことと存じます。一刻も早いインフルエンザ騒動の終息を祈るばかりです。

外来センターでは昨年7月から「がんサロン～なごみ～和」を1階に開設しました。がんの悩みや体験を語りあう、いこいの場として皆さまに活用していただいております。また「緩和ケア外来」を設け、外来でもがんなどの苦痛を和げるお手伝いをしています。

これからも外来センターでは「患者本位の医療」を基本理念とし、病院と診療所の橋渡しをおこないます。高機能外来を目指し、質の高い医療の提供を心がけます。地域医療、保健、福祉の連携を推進し、健康診断や病気の予防に関する情報の提供、訪問看護、福祉サービスの提供をおこないます。地域の皆様が快適に、そして健やかに過ごされるようにこれからも努めてまいります。

平成22年がささえあい、喜びをわかち合える輝かしい年でありますように。



健康講座 四疾病シリーズ

第3回

心筋梗塞

公立藤岡総合病院の心筋梗塞治療について

公立藤岡総合病院
循環器内科部長 井上 雅浩

心筋梗塞は心臓の筋肉に血液を送っている血管が、動脈硬化を起こし閉塞することで生じます。

当院では年間50～70人程の患者さんが心筋梗塞で入院します。

心筋梗塞の症状で、最も頻度の高い症状が胸痛です。具体的には、重苦しい、締め付けられる、焼けるようなといった、ある程度広い範囲に生じる症状が多く、針で刺されるような、指でさせる程の狭い範囲の痛みは心筋梗塞の痛みとは異なります。触って痛むもの、呼吸や咳、体をひねったりして痛みの強さの変わるものも、心筋梗塞の症状とは異なります。また胸部だけでなく、上腹部、左肩、前頸部に生じることもあります。症状の持続時間が1分から5分程の場合は狭心症の可能性が高く、30分以上持続した場合は心筋梗塞を考えます。狭心症も心臓の血管の動脈硬化で生じますが、心筋に障害を起こしていないため、治療は血管の治療のみで済み、心筋梗塞に比べ経過は良好です。もし心筋梗塞を疑う症状が出た場合には、夜間でも救急車を呼んで、できるだけ早く救急外来を受診することが大切です。心筋梗塞を発症した人の14%以上が、来院前に心臓が止まって亡くなっています。

心筋梗塞で現在最も有効性が高い治療は、閉塞した血管の血流を早期に回復させ、心筋梗塞の範囲を小さくすることです。当院では24時間体制で緊急の心臓カテーテル治療を行い対応しております。これからも質の高い医療を提供できるようにしていきたいと考えております。

がんサロン ～和～ なごみ

がんサロンとは

当院のがんサロンでは、がん患者さんやご家族が集い、悩みや体験を相談し語り合い、インターネットでがん情報の収集もできるようにパソコンを設置した場所を無料で提供しておりますので、気軽にお立ち寄りください。また、医師や看護師に相談したい場合はスタッフにお声かけください。



ご利用者の声

- ・色々泣き言を並べて聞いて頂き、胸の中のつかえがとれた気持ちです。涙が先に出てしまい心が和みました。ありがとう。(女性)
 - ・親しみやすい感じでリラックスして色々話をさせてもらいました。(女性)
 - ・夫を胃がんで亡くし誰にも相談できなかったが、今回、相談できてよかった。(女性)
 - ・「がんサポート」という雑誌をたくさん読ませてもらいました。(男性)
 - ・パソコンを開きインターネットを活用させてもらいました。(男性)
- ※この他たくさんの声をいただいております。

お問い合わせ

公立藤岡総合病院附属外来センター 地域医療連携課
TEL0274-22-3311 内線4311

カンナの会

カンナの会とは

「カンナの会」は糖尿病患者さんの患者会です。

活動内容

- ・毎月糖尿病機関誌「さかえ」をお届けしております。
- ・年2回ほどお食事会や糖尿病に関する講演会を開催し、会員相互の親睦や情報交換を行い同じ病の者同士が語り合える場を提供しております。
- ・至る11月7日(土)には附属外来センターで「ふれあい健康教室」が開催されました。その中で、カンナの会がお食事会を催し、管理栄養士の説明を聞きながら、会員だけでなく一般の方にも理想的な塩分量のお弁当(530Kcal)を提供しました。皆様には、たいへん好評でした。また、さまざまな業者さんの協力をいただき、糖尿病食の試食なども行われました。

入会案内

- ・年会費は2,000円で「さかえ」の代金となります。
- ・今後も、各種イベントを開催していきたいと考えておりますので入会を希望されます方は、外来センター地域医療連携課までご相談ください。



試食したお弁当です

ボランティア活動

活動内容

病院、外来センター、しらさぎの里で本の読み聞かせ、音楽の演奏、受付案内、車いす介助、湯茶の接待、入浴後の整髪などのお手伝いをしています。



参加者の声

～ ボランティア歴1年半の山口幸子様より ～

はやいもので、しらさぎの里でボランティアを始めてから1年半近く経ちました。週に一度、水曜日の午前中にお邪魔してデイケアでのお手伝いをしています。具体的には、利用者さんへのお茶いれや入浴後のお髪をドライヤーで乾かししたりしています。そんな中で皆さんとおしゃべりやふれあいが楽しくて、ここまで続けられています。また、週に一回というのも気軽に負担なく続けられた要因です。

一番大変だったことは、人の名前がなかなか覚えられなかったことです。でも、一度覚えてしまえば人との距離感がぐっと近づきました。

さて、何か人のお役に立てればと始めてたボランティアでしたが、「情けは人のためならず」とはよく言ったものです。毎回利用者さんや職員さんに「ありがとう」と言ってもらい、私は清々しい気持ちになれて元気をもらっています。

こんな一時を今後も大切にしていきたいと思います。

募集案内

当院では、引き続きボランティアを募集しています。

詳しくはホームページをご覧ください。地域医療連携課までご連絡下さい。

ホームページ <http://www.fujioka-hosp.or.jp/> 地域医療連携課 0274-22-3311

第10回多野藤岡がん市民講座のお知らせ

公立藤岡総合病院では市民の皆様方にむけた『がん講座』を開催しております。参加費無料、質問コーナーもありますのでお問い合わせのうえ是非ご参加ください。開催のご案内は、広報・当院ホームページ等で随時お知らせしております。

日 時: 平成22年2月6日(土)午後1時～午後3時

場 所: 公立藤岡総合病院 3階 第一会議室

定 員: 80名

講演内容: I「心の痛みとがんについて」

公立藤岡総合病院 神経内科部長 柳澤 孝之

II「住みなれた家で安心して過ごすために」

訪問看護ステーションはるかぜ 看護師長 黒澤 麻由美

